

J U K E  
A N N U A L  
R E P O R T  
2 0 1 3

N P O 法 人 J U K E  
ア ニ ュ ア ル レ ポ ー ト 2 0 1 3

1

## Policy

団体理念

2

## Our Solution

問題提起と  
ソリューション

3

## Message

共同代表メッセージ

4

## Activity

活動報告

5

## Discussion

学生スタッフ  
座談会

6

## Interview

社会人カタライザー  
インタビュー

7

## About JUKE

組織情報

8

## Finance

財務報告



THE WORLD  
JUKE AIMS

# Vision

目指す世界

## 望むものなら誰しも“Self Vision”を持ちうる世界

私たち JUKE は、ひとりでも多くの人が、自らの「目標」と「価値観」を持って納得した人生を主体的に選択し続けることが出来る社会の実現に取り組みます。

# Mission

使命

## キャリア教育の変革と普及

# Value

行動指針

## Challenge

挑戦

「現状を変革したいという志を持ち、  
チャレンジする姿勢」

## Commitment

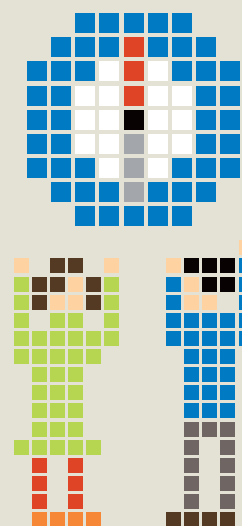
当事者意識

「自ら目標を設定し、強い意志で  
必ず達成する」

## Self-Discipline

自己規律

「自発的に考え行動し、成果を出す」



## 日本のキャリア教育には 認識のフェーズが圧倒的に足りない

今、世の中ではあらゆる場面でパラダイムシフトが起きています。

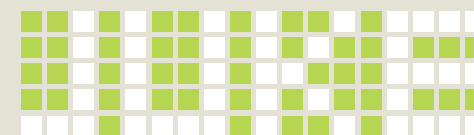
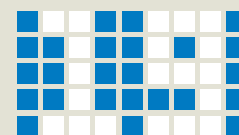
ビジネス・学問・文化活動はグローバル規模で密接に関連しながらも信じられないようなスピードで変化し、いままでの常識や過去の経験、特定の分野の解決策だけでは対処出来ない社会問題が生まれてきています。このような社会の中では、自らの「目標と価値観」に基づいたキャリアデザインを考える事が必要です。

一方で、日本の多くの就活生は、大学3年生の後半から突発的にキャリアについて考え始めます。わずか数ヶ月程度の、社会に対しても自分自身に対しても十分認識が固まらないなかでキャリア選択を行わなければならない現状は、多くのミスマッチを生じてしまいます。

自らの「目標と価値観」に基づく Vision を持った人材が各分野においてリーダーシップをとり、社会に対して価値を提供していくことが、日本の閉塞感を打破するうえで極めて大きな意義があると JUKE は考えます。

## キャリアを考えるきっかけを提供する

進路選択（進学・就職など）を迫られる前の早い段階から、キャリアを意識するきっかけを提供します。また一元的な価値観に捉われる事なく、自らの「目標と価値観」を見つめられるように、年齢・職業・性別・国籍を超えた多様な人材が集い議論出来るコミュニティを提供します。



「大学 1・2 年生＝19 歳」の年代に、自分の将来を考えるきっかけを得ることで、一步踏み出して行動して欲しい。さらにはジュークボックスのようにワクワクする人生を歩んで欲しいという思いから“JUKE”と名付けられました。



2010年の創業から4年の月日経りました。

“キャリアを考える”とは“どう生きるかを考える”事だと思います。この様な壮大なテーマに取り組む以上、日々の成果を一朝一夕で得ることは出来ません。一方でこの4年間で組織を前に進め、事業を創ってきた結果が、一つずつ目に見える形として現れているのを実感しつつあります。

“キャリア”は就職活動の一時期のみではなく、一生の様々なフェーズで考え続けるテーマだと思うからこそ、学生から社会人まで多様な人が集う場としてJUKEがあります。次代の日本を担う人材のプラットフォームとしてJUKEはこれからも前進してまいります。

NPO 法人 JUKE 共同代表 小泉 正剛

小泉 正剛





JUKE の共同代表に就任する 1 年前の 2011 年、勤務先で新卒採用を担う機会がありました。自分自身が採用される側として通った道ではありましたが、一括採用の枠の中で学生と企業がほぼ半年という短い間に「就職先（内定者）」を見つけなければならない現状に“不毛”の 2 文字が浮かんだ事が鮮明に思い出されます。（新卒採用担当者をご経験の方であれば一度はお感じになった方もいらっしゃると思います）

ただ、いち企業担当が工夫をして大きく変わるものでもなく、制度・教育機関の意向など様々な影響を受けるため、まずは個人から「キャリア（人生）」を考える機会を設け、個人が高校・大学 1~2 年のうちからより価値観や目標を考える機会を提供していきたいと考え運営しています。

第 1 回目のジョブシャドウイング（以下、JS）を経験した学生は社会人 2 年目（修士 1 年）になり、各々の道を歩んでいます。当時法学部に所属していた彼は民間との就職に悩み JS に参加しリアルな現場を見る事で「やっぱりこの道で進もう」とロースクールに進み、企業のマーケティングを希望していた女性は「実はビジネスは肌に合わないのではないか」と考え地域に根ざした公務員として活躍中です。

他人の価値基準ではなく、自身の感覚や基準を持ち合わせて選択し続けられる人材を今後も生み出して行きたいと思っています。

NPO 法人 JUKE 共同代表 岡崎 愛子

岡崎 愛子

## 2013年度の主な活動歴

01 聖光学院高校  
ジョブシャドウイング

|               |               |            |
|---------------|---------------|------------|
| 事前勉強会         | 2013年7月15日    | 受入団体：12団体  |
| ジョブシャドウイング    | 2013年8月5日～23日 | 高校生36名     |
| 事後報告会         | 2013年9月7日     | 社会人スタッフ21名 |
| 聖光学院高等学校（横浜市） |               | 学生スタッフ7名   |

2012年度より始まった本プログラムも、今年で2回目の開催となりました。たくさんの方の協力のおかげで、1回目よりも大きな規模で実施できています。本プログラムは訪問する企業やステークホルダーへの理解を高める事前勉強会を経て、1日社会で活躍している方に同行することで、社会人のリアルを体感するプログラムです。さらにそこで感じたものを事後報告会で他企業へ訪問した仲間と共有し合います。一連の流れを通じて“働く”ということを実際に体感し、将来のキャリア選択について考えるきっかけを提供することを狙いとしています。





## 02 東洋大学グローバル キャリアシンポジウム

2013年5月25日 13:00～16:00

東洋大学白山キャンパス

参加人数 51 名

トークセッションでは、グローバルに活躍する4名のゲストにグローバルな働き方やそのために必要だと思ふことを語ってもらい、その後参加者にはワークショップでの社会人との対話を通じて、自分の本当に興味のあることや伸ばしたい能力は何かを考え、それをもとに自分が次にすべきアクションを決めてもらいました。



## 03 キャリア座談会 10±

『あれもこれも両立するための自分だけの道筋を見つけよう!』

2013年9月22日 14:00～17:00

10°Café (高田馬場)

参加学生 7 名 (学生カタライザー 2 名を含む)、社会人 2 名

10± とは10名程度のアットホームな雰囲気で開催するイベントで、今回はあれもこれも両立させるには、どうすればいいのか!?というテーマのもと、参加者に自分のなりたい将来を実現するための道筋を考えてもらう場を作りました。このイベントを通して、大学のキャリア授業とはまた違う、自分自身や将来・目標に向かって真剣に相談できる仲間や、よい機会があることを嬉しく感じた、と話してくれた学生もいました。



## 04

## MFC 放課後講座

## 『絶対に後悔しないキャリア選択軸の見つけ方』

2013年11月20日 18:30～20:00

マイナビ本社 竹橋オフィス（マイナビセミナールーム）

参加人数 51 名

早くから自分の進路を選択してきた専門職で働く2名の社会人の方々から、自分自身の「軸」を自覚することが如何にキャリアを選択する上で大切かについて語って頂いた後、グループワークにおいて参加者自身に「自分の軸は何か」を考えてもらいました。無意識にある「軸」について考えたり、人と共有する経験は少なく、貴重な機会を提供することが出来ました。

## 05

## MFC 企業ゼミ

## 『外資コンサル・総合商社で働く社会人に教わる ～プロフェッショナルの働き方～』

2013年12月15日 13:00～16:00

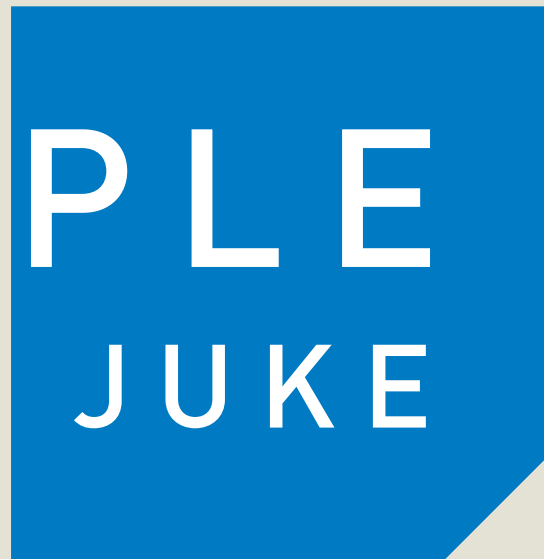
マイナビ本社 竹橋オフィス（マイナビセミナールーム）

参加：マイフューチャーキャンパス会員、27 名

「夢や憧れを目標に変えること」をテーマに、コンサル・商社で活躍する社会人のトークセッションと実践的なケーススタディを行いました。「夢や憧れを実現する為に必要な能力や心構えとは」、「どのような人材が求められているのか」、話で聞くだけでは腹落ちしにくい事柄を、ケースで「実感」し、自らネクストアクションを考えて貰うことで、高い変革実感度を実現しました。











井上 晴貴

早稲田大学法学部 4 年  
(本座談会におけるファシリテーター)

卯田 駿介

首都大学東京大学院  
システム・デザイン研究科修士 2 年

久村 勇介  
(ひさむー)

早稲田大学法学部 2 年

泉澤 梓織  
(しおり)

東京女子大学現代教養学部  
人文学科史学専攻 4 年

JUKE では、たくさんの学生スタッフ&インターンが活躍しています。今回は彼らの JUKE との関わりについて語り合ってもらいました。

## JUKE へのきっかけ

井上：普段は皆さんと JUKE について語る機会も少ないので、本日は和気あいあいと意見交換したいなと思っています。さて早速ですが、皆さんの JUKE に参加するきっかけと、現在の主な活動を教えて下さい。

卯田：JUKE を知ったのは、いまは理事メンバーとして活動している中高時代の同級生である岡田香から、当時彼

女が企画していたイベントに誘われたのがきっかけです。大学 2 年の 11 月にイベントに参加してから、気がつけばスタッフになってみたい感覚ですね。現在は特定の活動はしていませんが、このアニュアルレポートのデザインの手伝いをしています。

久村：僕は同じ大学の同じゼミの先輩が先に JUKE に関わっていて、彼の紹介で JUKE のこと知ってやってきました。大学 1 年の 4 月から JUKE に所属していて、イベン

ト事業に関わっています。

井上：大学1年の4月って、授業より早いよね、すごい。

泉澤：私も高校からの先輩に JUKE のことを教えて頂いてイベントに参加したのがきっかけでした。最初はいろいろコミュニティ事業、聖光 JS とかやってましたけど、今は財務部で管理業務をしています。

## 自分に向いてることが みれるようになった

井上：卯田さんは、学生の中では JUKE 歴長いですね。

卯田：そっか、気が付けば自分がいつの間にか一番先輩

になっちゃったんですね。僕も昔はひさむーみたいなポジションでやってたのにな。

井上：そうですよ、卯田さんはもう JUKE で活動始めて 4 年目ですけど、JUKE の魅力を教えて頂いてもいいですか？

卯田：結構本質的なところから来ますね(笑)。どうだろう、関わってる人達が面白いことや、大学での専攻とかが全く異なる人たちとか普段接することのない社会人がいる環境というのが JUKE っていう団体の魅力だと思います。

泉澤：私が JUKE に入ってよかったのは、いろんなことにチャレンジして自分のしたいことが明確になったことですね。JUKE のメンバーには「自分はこういう企画がしたいんだ」という力強い人が多いイメージがあって、そこか



ら生まれてくるコミュニティ事業関連の活動ってやっぱり格好いいと思うんですよ。実際私もいくつかイベント運営したんだけど、その中で実は私の本当にやりたいことってそうじゃないんだと。裏方として、例えば資金管理とかでしっかりと組織を後ろからバックアップするような働き方がしたいんだなと気付くことができました。その後代表の小泉さんと話す機会が合った際に「財務の仕事がやりたいです」って自分から申し出たらやらせてもらえることになって。

井上：ひさむーは JUKE に入ってからまだ 1 年くらいだけど、印象に残ったこととかある？

久村：僕にとって JUKE が新鮮だったのは、初めてイベントに参加した日から「あれやって、これやって」って言われて、お客さん扱いの要素がなかったことですね。あれには驚きました。それに、そのイベント後は当日の活動

の反省会にまで呼ばれたり。僕にはその「近い感じ」が「これからよろしくね」って感じで接して下さっているように映ってとても印象に残ってます。

卯田：JUKE の活動テーマってそこに「人」がいて、今も昔も皆が同じ思いを抱いて一生懸命活動してて、そこが JUKE の一番いいところなんだよね、きっと。

## 社会人の人たちの壁にぶつかって泣くことってそうそうない

卯田：あの、これ誤解してほしくないんですけど、JUKE にいる学生スタッフって、皆結構今まで泣いてきてると思うんですよ（笑）多くの場合、大学生が社会人の壁にぶつかって泣くことってそうそうないと思うんですけど。実は僕もずっと前にデザイン系の学生向けイベントの企画を



※ 佐藤優介 前代表

作って前代表と延々と議論重ねたことがあったんですけど、すけさん<sup>\*</sup>に全然ダメ、全然考えられてないって言われて泣けてきて（笑）。そのとき、すごく悔しいな一っと思ったんですよ。すけさんの言ったことは的を得てたんで余計に悔しかったのかもしれませんが。結局そのイベントは日の目を見なかったんですけど、その体験は強烈でした。

井上：確かに、学生のうちに社会人の壁にぶつかる経験ってないですよ。しおりも頷いてるけれど、そういう経験あるの？

泉澤：私は女子高育ちの女子大で、女の子同士って人に意見するとか注意されるとかあんまりないと思うんですけど、私の周りの環境もそうだったんですね。でも JUKE の活動に飛び込んでみたら、ダメなものはダメって未熟なところを率直に伝えられるんですよ。もちろん皆さん基本的に優しいんですけど。特に私が一番怒られた理由は Gmail をうまく使えなくて連絡方法で迷惑をかけたってこ

とだったんだけど（笑）、注意の仕方も優しいものの怒られたこと自体が情けないやら悔しいやらで。

井上：社会の第一線で活躍してる社会人達と一緒に働くと、吸収するものは本当に多いですよ。

久村：JUKE って社会人のオフまで見れるのも学生からすると貴重な体験ですね。他のイベントとかに行っても、多くの場合、社会人はそのイベントのためのオンモードなわけですけど、JUKE ってイベントのための準備とか、イベント後の上げとかで社会人のオフの顔が見れて、そのオフから始まるコミュニケーションもあるんですよ。

## 成長したって実感できる。だから活動を続けてる

井上：普段は授業やゼミ、バイトなどで忙しい中、みなさんは JUKE との両立をどのように工夫されていますか？







久村：僕は他にも法律系のサークルに入っているんですが、最初は JUKE 含めすべてに全力でした。でも法学部の中だけで完結しちゃうサークルに間延びしてしまって最近は JUKE と、もう1つの NPO に 45:45 で注力して、残り 10% を法律系サークルにかける状態になっています（笑）。やっぱりこっちは面白いですよ。ただ学生でわいわいやって、合宿行ってみたいなののが楽しいんだって思うときがあって。

卯田：それ、2 年生で考えることじゃない！（笑）僕の場合は、ある時期は 100：0 で JUKE に全力に関わって、逆にある時期はもう JUKE からは距離を取って、っていう感じです。今はまさに後者の状況です。

井上：しおりは JUKE から離れた時期とかある？



泉澤：がつつり離れた時期はないですね。イベントのあと仕事なくて1、2ヶ月空くことはあったりしましたが。

井上：めんどくさいなーとか、ちょっと離れたいなって思ったこととかってないの？

泉澤：ないですね。めんどくさいと思った時点でやってないですからね。あと辞めたいと思ったこと自体もない。成長できたって快感を何度も味わいたいからですかね。怒られることもあるけど、褒められて成長したっていう実感を味わうことが多いですよ。特にイベントやって忙しいう時は、終わるまでは絶対やめないうて思いますね。投げ出したらアウトっていうのが自分の中にあって。それで今度はそれが終わったら快感があるから、また次をやり始めるっていう。



井上：なるほど、成長する実感があると楽しいもんね。そういえば最近距離を置いている卯田さんは、今何に一番力入れてるんですか？

卯田：週3～4でフットサルです！

井上：結構やってますね（笑）。フットサル部の部長やってらっしゃるんですって！

卯田：僕自身も先輩に誘われて大学4年から入ったのに、部長やってます（笑）そういえば、当時部員が全然いなかったんですよ。それで、JUKE で広報担当してたから、その経験を活かして人集めしたら30人くらい集まってくれて。そのときは JUKE の経験が生きたなっていう心から思いましたね。



井上：うまくまとめていただいてありがとうございます（笑）けれど、確かに JUKE でやってることが他の活動で活かされたことって、誰にでも経験があるんじゃないかなって思いますね。しおりはそういう経験ある？

泉澤：私の場合にはさっき少し言ったことと被るけど、いま就職活動をしてる中で、財務とか経理とかの仕事がやりたいんだっていう自分の志望が JUKE ではっきりしたことが役に立ってるかな。将来のキャリアを考えていく上で、大切なことを見つけたと思っています。

井上：今日は楽しかったです。皆様お忙しい中お集りいただきましてありがとうございました！

——2014/05/11 都内某所

**武藤裕美**

株式会社ベネフィット・ワン勤務。  
明治学院大学卒業。  
学生時代はバスケット部に所属。  
趣味は自転車、サックス。

JUKE では組織運営を担う社会人スタッフのほかにも、各種キャリアイベントのパネリストや、ジョブシャドウイング（以下、JS）におけるカタライザーとして多くの社会人に参画していただいています。今回はそういった社会人を代表して、武藤裕美さんに JUKE との関わり合いなどについて、JUKE の学生スタッフの鈴木康平がインタビューさせていただきました。

**鈴木：武藤さんは普段はどのようなお仕事をされていますか。**

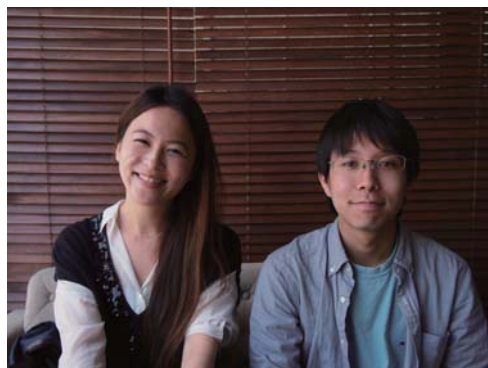
武藤さん：主にクライアントの従業員に対する福利厚生業務の運営代行サービスを行う上場会社に勤務しており、当初は人事部で数年間、新卒採用・研修・人事制度や給与体系の設計など様々な人事関連の業務に携わっていました。現在は全く違う分野ですがサービス開発部で新規事業担当の責任者としてプロジェクトを推進しています。日々新しい分野に挑戦することを応援してくれる社風なので、色々なことを吸収しながら楽しく働いています。

**鈴木：武藤さんが JUKE に関わったきっかけを教えてください。**

武藤さん：人事に在籍していた当時、社外の人事担当者のネットワークで知人から JUKE への誘いを受けました。私自身、採用活動などを通じ学生と関わってく中で、日本の採用制度にも問題を感じている部分もありましたし、会社の利益とは度外視した部分で学生と向き合いたいとの思いを元々抱いていたので、JS のカタライザーとして参加させてもらいました。また折角ならということで弊社を JS の受入企業のひとつとしてご紹介し、それに関する手伝いもさせていただきました。

（次ページへ）





鈴木：当時の JUKE の第一印象はどのようなものですが。また JUKE のどのようなところに魅力を感じていらっしゃいますか。

武藤さん：JUKE の学生のために何かを提供するという活動内容は素直に素敵だと思いましたし、こういう仕事の本業にできれば本当にいいなという感想でしたね。また私の場合には自分の疑問点とも関わっているエリアの事業を JUKE が展開しているので、自分の興味・関心事に対する好奇心を満たしながら楽しく社会に貢献できるオープンな場所だと感じられ、「社会貢献」というものを難しく考えていた自分のなかのハードルが下がった気がします。色々な方面で活躍される幅広い年代の社会人の方が集まり学生とフラットに意見交換しているし、私自身も会社名や肩書に関係なく一個人として何が JUKE に提供できるかが求められる側面があるので、自分が大事にしているものが何なのかが自然と見い出される場所ですね。

今後も JUKE が必要とするものと自分が担える役割とをその時々で考えながら関われる範囲で関わっていければと思っています。

鈴木：人事でのご経験や JUKE を通じて多くの学生と関わってこられたかと思います。学生に求めるもの、またこうあればいいんじゃないかというアドバイスがあれば、教えてください。

武藤さん：これは自分でも気をつけていることなのですが、社会に出るとキャリアや就職活動のように正解が用意されていないものばかりで、迷ってしまうことが多々あります。そんなときに、自分なりのゴールや目的を明確にして自分の頭で考えて自分なりの答えをその時々で出して進んでいく力を養ってほしいですね。実際は私もまだまだ勉強中なので一緒に頑張っていきましょう。また働くことに対して好奇心を持つてほしいですし、できれば社会人のロールモデルを見つけることができればいいですね。JUKE はそれを実現するいい場所を提供してくれていると思います。

——2014/5/11 都内某所



- 16 -

|           |                                                                                                               |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 法 人 名     | 特定非営利活動法人JUKE（通称：NPO 法人JUKE）                                                                                  |
| 本 社       | 東京都新宿区新宿 5－11－13 富士新宿ビル 4 階                                                                                   |
| 活 動 内 容   | キャリア教育の変革をもたらす活動全般<br>・ ジョブシャドウイングの実施<br>・ ロールモデル提示型のキャリアセミナー開催<br>・ 学生向けキャリアシンポジウム開催<br>・ その他の各種セミナー・研修会等の開催 |
| コ ン タ ク ト | info@npo-juke.com                                                                                             |
| U R L     | http://npo-juke.com                                                                                           |

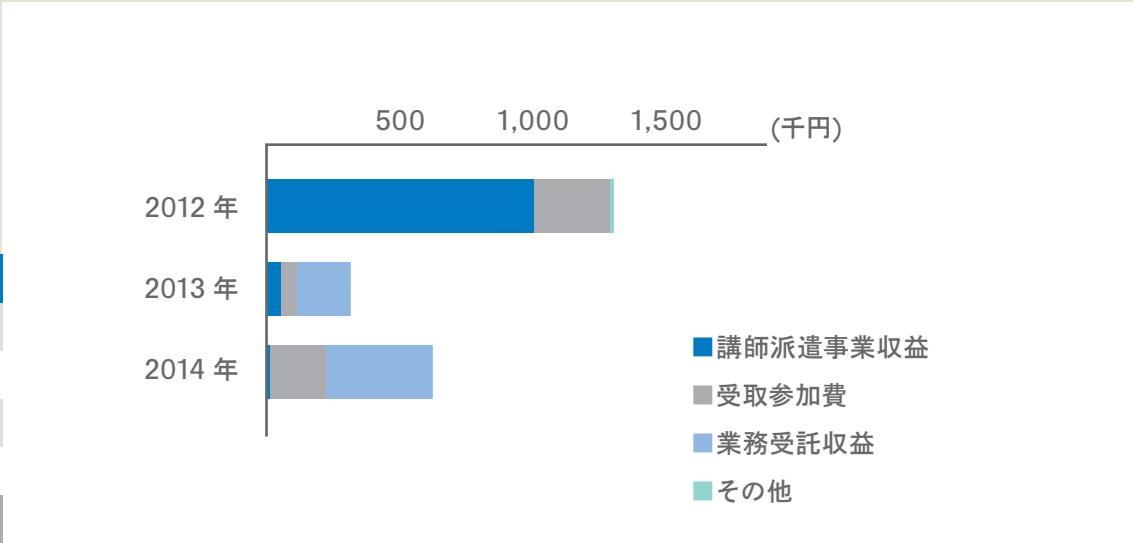
|             |                                                        |
|-------------|--------------------------------------------------------|
| 2008 年 4 月  | 佐藤優介が任意団体としてJUKE を立ち上げ                                 |
| 2009 年 7 月  | 堀井貴史が活動に参画、NPO 化の検討をスタート                               |
| 2010 年 4 月  | 特定非営利活動法人の法人格を取得しNPO 法人JUKE となる<br>共同代表に佐藤優介、堀井貴史が就任   |
| 2010 年 8 月  | 大学生を対象としたジョブシャドウィングを始める<br>ジョブシャドウィングの早稲田大学との共催をスタート   |
| 2011 年 8 月  | ジョブシャドウィングの岩手大学との共催をスタート                               |
| 2011 年 9 月  | NPO プロボノフェア 2011（NPO 法人 Living in Peace 主催）<br>へブースを出展 |
| 2011 年 11 月 | 学生向けキャリアパネルディスカッションを河合塾ALUMNI と共催                      |
| 2012 年 2 月  | 雑誌「ソトコト」2012 年 3 月号にJUKE の活動内容と<br>理事・佐藤のインタビューが掲載     |
| 2012 年 6 月  | 新共同代表に岡崎愛子、小泉正剛が就任（現任）                                 |
| 2012 年 6 月  | 学生向けキャリアパネルディスカッションをAIESEC と共催                         |
| 2012 年 8 月  | 高校生を対象としたジョブシャドウィングを始める<br>ジョブシャドウィングの聖光学院高校との共催をスタート  |
| 2013 年 5 月  | 学生向けキャリアシンポジウムを東洋大学と共催                                 |
| 2013 年 11 月 | 株式会社マイナビ運営の”My Future Campus”と学生向け<br>キャリアセミナーを共催      |

ほかキャリア教育に関する諸イベント等の活動多数

収益推移

| 科 目      | 2012年3月期  | 2013年3月期 | 2014年3月期 |
|----------|-----------|----------|----------|
| 講師派遣事業収益 | 1,002,340 | 56,000   | 15,000   |
| 受取参加費    | 288,500   | 60,560   | 208,000  |
| 業務受託収益   | 0         | 200,000  | 400,000  |
| その他      | 12,405    | 132      | 117      |
| 収益合計     | 1,303,245 | 316,692  | 623,117  |

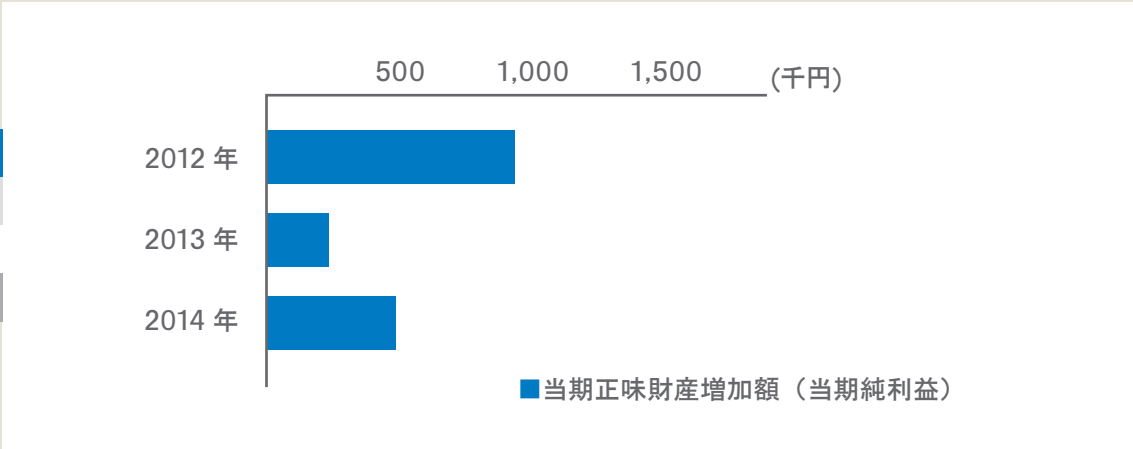
(単位：円)



純利益推移

| 科 目              | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 |
|------------------|----------|----------|----------|
| 税引前当期正味財産増減額     | 930,098  | 138,166  | 357,858  |
| 法人税、住民税及び事業税     | 0        | 95,900   | 128,400  |
| 当期正味財産増加額（当期純利益） | 930,098  | 42,266   | 229,458  |

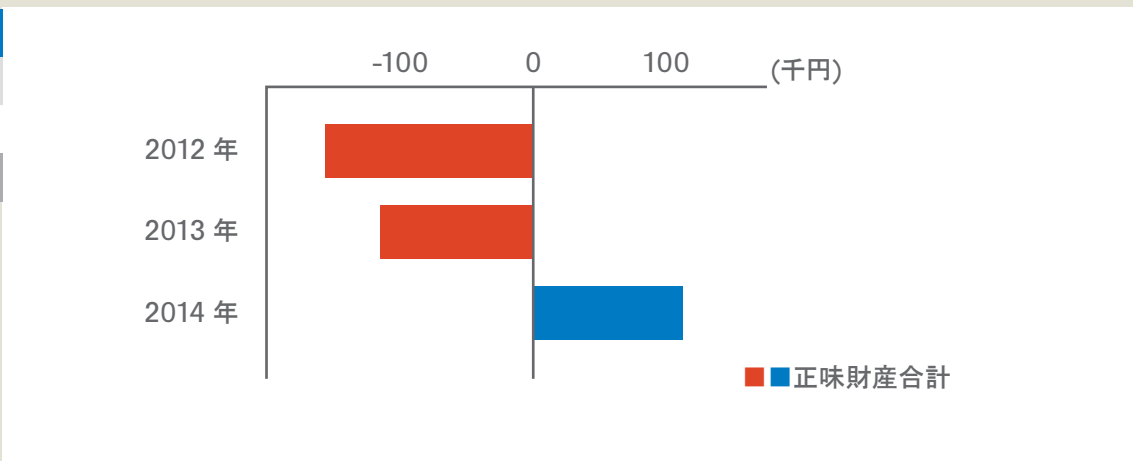
(単位：円)



財政状態推移

| 科 目    | 2012年3月期  | 2013年3月期  | 2014年3月期 |
|--------|-----------|-----------|----------|
| 資産合計   | 1,192,713 | 898,691   | 710,649  |
| 負債合計   | 1,351,115 | 1,014,827 | 597,327  |
| 正味財産合計 | -158,402  | -116,136  | 113,322  |

(単位：円)





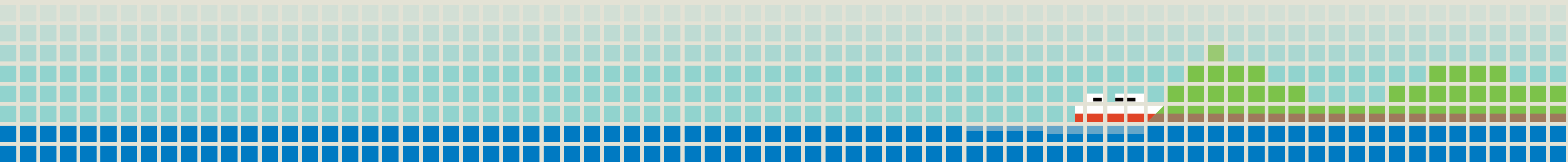
## 業績及び財政状態レビュー

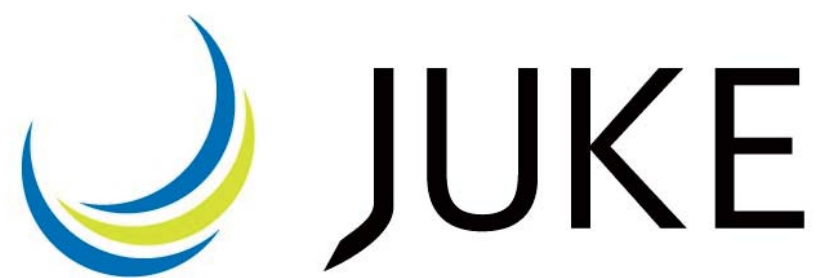
2014 年 3 月期は収益が 96.8% 増の 623 千円となり、設立以来はじめて正味財産合計がプラスに転じました。これらの主な要因としては、前年度に引き続きジョブシャドウイングを実施したほか、新たに株式会社マイナビ様が手がけるキャリア支援プログラム「MY FUTURE CAMPUS」(<http://mycampus.jp/>) との共催イベントを行うなど、活動スケールの広がりによる業務受託収益の増加が挙げられます。

また、資産および負債の減少の主な要因は創業時の運転資金として調達した借入金の返済によるものであり、同借入金については今後も財政状態に応じて返済を行っていく予定です。

## J U K E の財務報告ポリシーについて

NPO 法人 JUKE では、我々が目指すビジョンの達成に向けて責任を持って持続可能な運営を行うため、新 NPO 会計に準拠して財務報告の作成をしております。また、ご支援をいただく皆様に対して適正な開示に努めてまいります。





|   |   |                         |
|---|---|-------------------------|
| 企 | 画 | JUKE 財務部                |
| 編 | 集 | 井上晴貴 (JUKE)、山本修一 (JUKE) |
| 作 | 成 | 角谷亮祐 (JUKE)             |